

# 竹原管内景況調査

## 12月の景況DIは、製造業は好転、非製造業は悪化

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和元年12月に実施しました調査結果がまとめられましたので、ご報告いたします。

### 調査概要

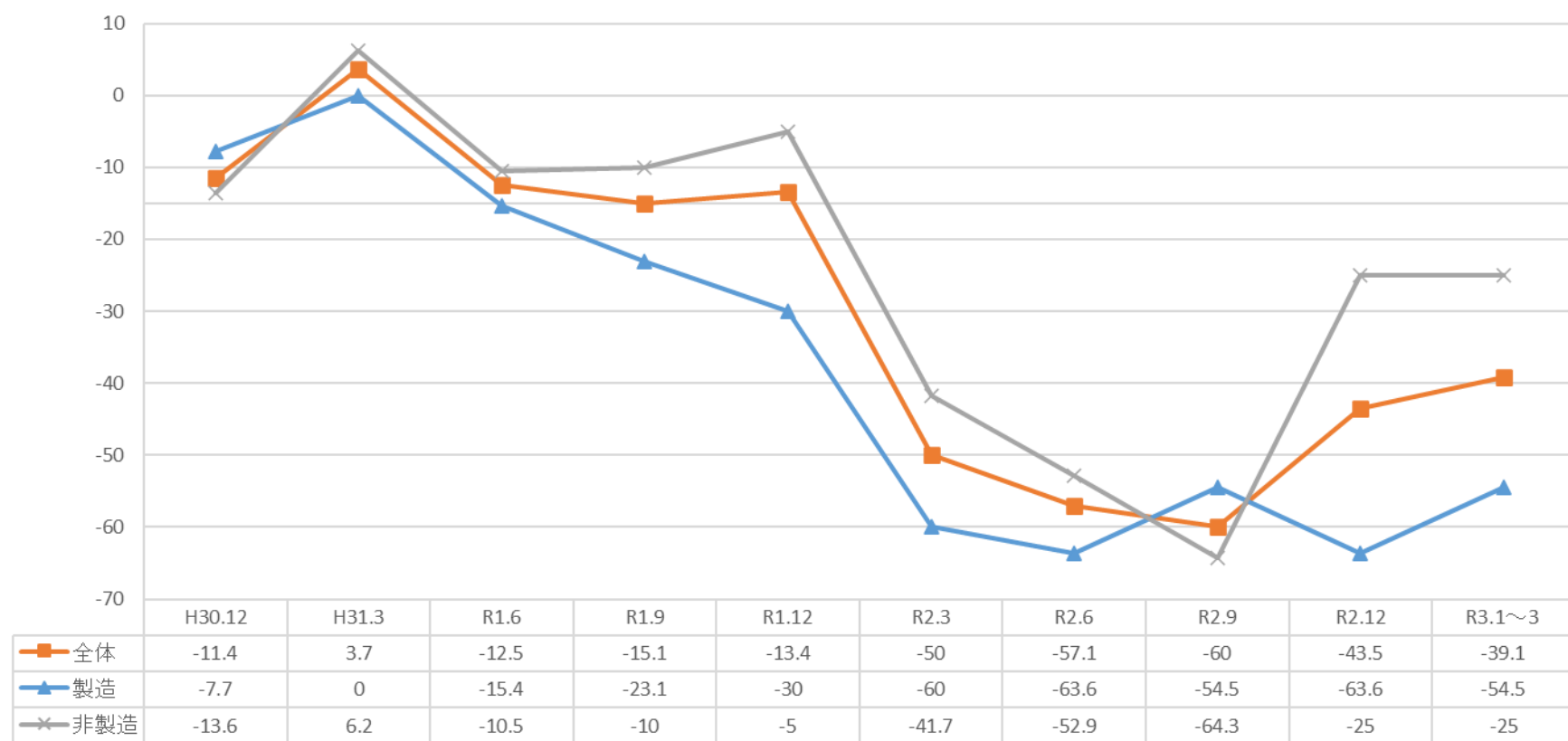
【調査時期】  
四半期毎に調査(年4回実施)  
【調査期間】  
令和2年12月  
【調査対象】  
当所会員

### 回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	17	11
建設	6	2
小売	13	3
サービス	17	7
合計	53	23

### ●全産業におけるDI値

景況DIの推移



12月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は9.1ポイント好転し、非製造業は39.3ポイント好転しています。12月と比べて1月~3月までの見通しは、全体では、4.4ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

### ●景況が好転(悪化)した理由について

#### 《製造業》

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が、今だ若干受けている。(機械)
- ・受注先の生産状況が低下しているため。(ゴム製品)
- ・設備投資を控えているため。(鉄工)
- ・テレワークによる半導体増産。(電子)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、販売計画の延期や、海外代理店の活動低下などのため。(食品)
- ・市場と業務店の売上減少。(食品)

#### 《非製造業》

##### ◇小売業

- ・コロナの影響で、テナント売上が悪くなった。(スーパー)
- ・Gotoキャンペーンで、小売りについては一時上向きになったが、感染拡大に伴い縮小傾向にある。(土産物店)

##### ◇サービス業

- ・一時新規が増加したが、直接面談をコロナで控えているため減少傾向。(保険)
- ・コロナ感染拡大による影響により、取引先との契約打ち切りのため。(飲食)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)